

都市計画マスタープラン 住民ワークショップについて

本町のまちづくりに係る基本的な方針を示す計画となる「都市計画マスタープラン」の見直しに向けて、8月25日（日）に第2回住民ワークショップを小池、千代田、川津場の3地区合同で開催しました。当日は休日にも関わらず、3地区合計24名の住民の皆様にご参加をいただきました。

● 第2回住民ワークショップの概要

□ 日 時 8月25日（日） 午前10時～12時15分

□ 場 所 福祉センター「やすらぎの里」2階 講習室

第1部では、改めて都市計画の概要について説明するとともに、第1回住民ワークショップで頂いたご意見やアイデアに対して、都市計画マスタープランにどのように反映したかを説明しました。



主な意見・質問

- はにわ台地区では人口減少・高齢化が進んでいる。町としては川津場地区に新たなスーパーができるなど民間事業者からみて需要はあるので、それをうまく小池地区に取り込んでいく必要がある。
- 住民の高齢化も進んでいるので、高齢者の視点にたったまちづくりの視点（道路や施設のバリアフリー化についての方針）も記載してほしい。
- 近年町内でも外国人居住者が増えているので、多言語化等への対応についても検討してほしい。

第2部では、先進自治体の取り組みも紹介しながら、これからのまちづくりを進めていくために、「住民の立場からどんな活動・取組みが考えられるか」、「それらを推進するために行政や事業者からどんな支援が必要か」について、小池、千代田、川津場ごとにテーブルに分かれ、ワークショップ形式でご意見を出し合っていました。最後に各地区で出された意見について発表しました。

各地区の主なご意見

- [小池地区]・ボランティア活動を軸とした地域振興活動を自治会単位や個人で推進すべき
- ・人口を確保するためにもスピード感を持って移転者のための居住地の確保に努めるべき
 - ・商業施設からはにわ台までの無料送迎バスを定期運行してもらえるための働きかけ など
- [千代田地区]・まちづくりを実現するためにも自治会や国・県、NAA、民間事業者、周辺自治体などが参加する地域組織の設立が必要
- ・駅前に地域のPRを担う観光や行政の拠点があるとよいのでは など
- [川津場地区]・まちづくりの担い手となる住民や事業者の呼び込みが必要
- ・行政からまちづくりの状況などを積極的に情報発信してもらいたい など

● 第2回住民説明会開催のお知らせ

これまでの検討結果を踏まえて作成した「芝山町都市計画マスタープラン（案）」について、広く住民の皆さまにご説明するため、第2回住民説明会を以下の日程で開催します。

お忙しい時期とは存じますが、これからのまちづくりを進めていくための重要な計画となりますので、住民の皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

《開催日時》10月6日（日）午前10時～12時

芝山町役場 南庁舎1階研修室